

琵琶湖の渇水と湖底遺跡

琵琶湖の渇水

昨年は、台風が上陸せず好天が続いたことによる琵琶湖の渇水が話題となりました。この渇水では、県内外の取水制限が検討されるなど、この冬は近畿一円の暮らしなどに大きな影響が出るのが指摘されています。

一方、この渇水による水位低下は、明智光秀が築いた「坂本城本丸石垣」の一部や、羽柴秀吉が長浜城築城時に使用したと伝わる「大岡井戸跡」の全容など、普段は水中に隠れている遺構が県内各地の湖底遺跡から現れたことなど

が話題となりました。

琵琶湖の湖底遺跡

現在、琵琶湖やその内湖にある湖底遺跡は、県内で104か所ほど確認されています。人々の生活の痕跡が遺物と共にそのまま埋没していることが特徴で、琵琶湖水位の上昇や地盤沈下によりかつて陸地に位置していたものが、水没したと考えられています。

市内には、14か所の湖底遺跡が知られています。発掘調査等により湖岸から100m程の沖合に形成された弥生時代後期から古墳時代前期にかけての集落跡と詳細が



主な湖底遺跡の位置図

判明している森浜遺跡や針江浜遺跡の他に、『高島郡誌』（昭和2年刊行）には、三ツ矢千軒など、水没した集落や水田跡につ

いて伝承する遺跡が存在します。また、森浜から木津にかけての湖中には「殿様の隠れ道」と呼ばれる浜堤（湖岸に沿って堤状に形成された地形）が存在し、ここからは、須恵器などの土器が採集されています。今後、市内の湖底遺跡でも、渇水の状況によりその姿を現わすことがあるかもしれません。

記録にみる水位低下

古い記録の『大乘院日記目録』や『太平記』などには、康安2年（1362）には6月から11月まで干ばつが続き、琵琶湖の水位が三丈六尺（約10m）低下したよ

うすの記録が残っています。水位低下により「白鬚ノ明神ノ前ニテ、奥ニ二人シテ抱許ナル檜木ノ柱ヲ、アワイ一丈八尺ズツ、立双ベテ、二町余ニ渡セル橋見ヘタリ」とあり、白鬚明神前の湖中にヒノキの巨木で築かれた二町（約200m）余りの橋が出現したとされています。



針江浜遺跡発掘のようす

うすは、今も昔も変わらないのかもしれません。

文化財課 (25) 8559

編集感

皆さん、あけましておめでとうございます。新年いかがお過ごしでしょうか。私は毎年、この時期になるとお餅に砂糖醤油をつけて食べています！とても美味しいのでついつい食べ過ぎてしまうので、気を付けているつもりですが、体重計を見るのがこわいですね(^_^;) 新年早々シェイプアップに励む必要があるかもしれません（笑）(K)



広報たかしま

令和4年

1

月号 No.264

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課
TEL:0740-1-5001 滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

0740(25) 8000(代)
http://www.city.takashima.lg.jp
t:info@city.takashima.lg.jp